



ほごしゃ  
保護者のみなさんへ

2024年7月発行

# みなりん教育だより 第6号

みなとくちょう やまぐちてるみ  
港区長 山口照美

みなとくたんとうきょういくじょう  
(港区担当教育次長)

しょうがくせい ほごしゃ  
小学生の保護者のみなさん、こんにちは! 港区長の山口です。  
もとしょうがっこう こうちょう こそだ なや おや たちば  
元小学校の校長でもあり、子育てに悩む親でもある立場から、  
がつき いちど ほごしゃ じょうほうはっしん  
学期に一度、保護者のみなさんに情報発信をしています。



## 子どもの本当の声を、話を、聴いてみよう!

子どもの見ている世界や知っていることを、保護者は本当の意味で知りません。それは、私が塾の先生や校長をしていた時に、親に見せる顔と友だちや先生に見せる顔が違うのを見てきて、実感していることです。保護者は、子どもの顔のすべてを知っている必要も無いとは思っています。ただ、子どもの SOS は、できるだけ身近な大人がキャッチしてほしい。

「生きる力とは、世界中のどこに行っても『助けてと言える力』」だと、ある大学教授に聞きました。しかし、子どもは自分のモヤモヤをうまく言葉にできないケースもありますし、気を遣って言わないこともあります。過去に伝えて、向き合ってもらえたかった経験から言わなくなる子もいます。

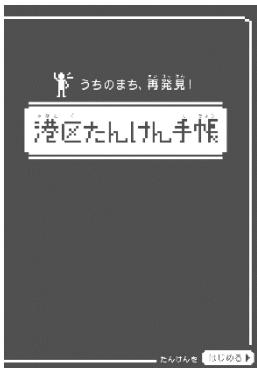
ポイントは「心理的安全性」と言われる、何を言ってもこの大人は怒らないで聞いてくれるという気持ちを子どもが感じていることです。内容によっては怒りたくなるし、話を最後まで聞かずに決めつけてしまうこともあります。私も我が子に何度も失敗をしてきました。それでも、たわいもない話をゆるゆると聞く時間を作ることで、だんだんと人間関係の悩みや学校生活での不満が出てきます。「安心して話せる関係」が壊れてしまっている時は、別の人へ聴き役をお願いしながら、少しずつ「安心して一緒にいられる時間」を積み上げていく。夏休みはぜひ、子どもとゆったり話ができる時間を作ってみてください。パズルや手芸をしながら、並んで話すのも効果的です。



## 《一緒に読もう! 読書のススメ》

みなとく てちょう  
『港区たんけん手帳』 港区役所

子どもと話すネタにも、夏休みの自由研究にもおすすめ! ネットで「港区たんけん手帳」で検索すると、デジタルブックで無料で読めます。港区が昔は海だったこと、市岡がスイカの名産地だったこと、災害との戦いの歴史がわかります。港区の歴史を知ることができます。子どもに向かって書かれた一冊です。港区に住むことが楽しくなります。



いちおかしょうぎょうこうこう あとち へきが  
市岡商業高校跡地の壁画になるかも!?

みらい みなとく みらい  
**「わたしの未来、港区の未来」**

だいぼしゅう  
**★イラスト大募集★**

ねん みなとく う しゅうねん  
2025年、港区が生まれてから 100周年になります。大阪・関西万博と一緒に盛り上げるために、弁天町にある市岡商業高校跡地を囲っているへいに飾るイラストを、区内の小学生から募集しています⇒デジタルで描いた絵もOK!

